

# 岡遺跡（第1次）

## 縄文時代からこんにちは！

発掘調査が進み縄文時代の中期後半から晩期頃(約 4,500 年前～3,300 年前)とみられる、たくさんの縄文土器片やサヌカイト製の石器が確認されました。ここではその一部を紹介します。

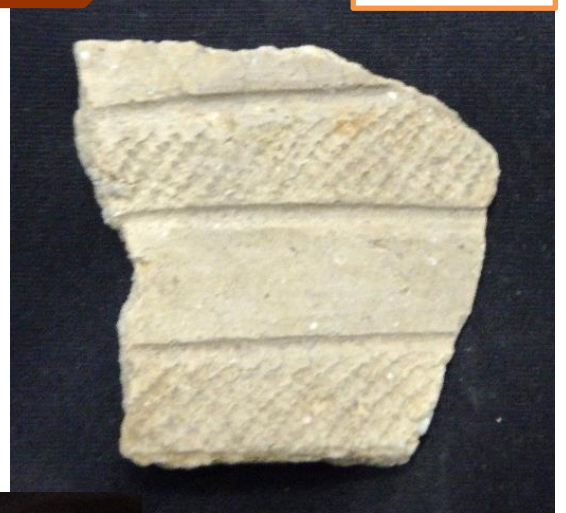
さつき  
削器 (皮や木などを削る道具)



石器

縄文土器

文様あり



せきそく  
石鏃 (矢じり)



文様なし



はくへん  
剥片  
(原石を打ちかいて  
うす  
できた薄いかけら)



### サヌカイトとは…

さぬきいし  
讃岐石のこと。黒色できめ細かな安山岩。  
さぬきのくに  
讃岐国(香川県)で多く産出している。割ると  
すど  
鋭いかけらが取れることから石材として利用される。奈良県の二上山でも産出し、三重県内で出土するもののほとんどはここから運ばれたと考えられます。

縄文土器の中には文様がないものもあります。

問い合わせ先

515-0325

三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター 担当：中村・元座

電話0596-52-7028

FAX0596-52-7035